

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	33.岡山県
市区町村名	33100岡山市
自治体区分	指定都市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
33100岡山市	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない子どもが増えており、学校教育外での学習支援の機会の提供が求められている。	地域と学校の協働フォーラムを開催し、地域住民と学校園教員の地域学校協働本部への理解を深めてきた。	・周知・啓発により、地域住民の地域学校協働本部への理解を深め設置数の増加を図る。 ・地域未来塾を全公民館（37館）で実施する。	地域での学習支援活動の場を増やすことで、子どもたちが学校外で受けることができる学習支援活動の機会を充実させる。	地域住民による学校外での学習支援活動と地域未来塾の延べ実施件数（日数）	769	件	800	832	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 37館ある公民館のうち31館で地域未来塾を実施した。地域住民が参加しやすい活動の好事例を紹介する等、情報発信をすることで、学習支援活動に関する周知を図る。
33100岡山市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	教員の仕事は授業以外にも地域との調整・連絡など多岐にわたっており、負担感が問題となっている。教員が子どもたちと向き合う時間を増やすためにも、教員の業務負担軽減が求められている。	地域と学校の協働フォーラムを開催し、地域住民と学校園教員の地域学校協働活動推進員という役割への理解を深めてきた。	地域と学校の協働フォーラムを通じて地域で地域学校協働活動推進員の適任者を探してもらおうと依頼するとともに、学校運営協議会等を訪問し、丁寧な説明を行うことにより地域学校協働活動推進員の増員を図る。	学校・家庭・地域の役割分担の明確化により、地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減している学校園の割合	地域学校協働活動推進員が配置されている学校園の割合	38	%	42	45	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 目標値を上回ることができた。学校へのアンケートから、ボランティア募集等の業務を地域学校協働活動推進員が担うことで教職員の負担が軽減されたり、地域と円滑な連携を行える関係づくりができた等の意見があった。一方、推進員が見つからない等の意見もあり、引き続き、人材の確保及び育成を進めていく必要がある。
33100岡山市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	コーディネーター等の担い手が不足、高齢化が進み、教室の継続や新規増のために人材確保が課題となっている。	大学のボランティア募集ページへの掲載による周知や活動に興味がある人への情報提供をした。	地域への周知・啓発により、ボランティア人材、協力団体の増を図り、18か所での開設を目指す。	子ども教室の活動継続や新規開設によって、すべての子どもが放課後等に安全・安心に過ごし、多様な体験活動ができる機会が確保される。	教室数	17	教室	18	17	03 本年度の目標値を達成し、課題 大学のボランティア募集ページの掲載や事例報告集の配布等、子ども教室の活動の周知を図ったが、新たな担い手確保は実現できず、実施教室数の維持に留まった。周知の範囲・対象を見直す等して、担い手確保を実現していく。

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。